学校番号	413

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	トゥッテイ　プラス　（教育出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	歌声を響かせよう	・発声練習 ・校歌 ・君に届くまで ・少年時代	a:曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:主体的・協働的に歌唱活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 振り返りシート
	ギターに挑戦してみよう	・ギター基礎練習 ・音階 ・きらきら星 ・クリーガーのメヌエット(2重奏)	a:ギターを演奏するための基本的な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:楽曲にふさわしい音色でどのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:ギターに関心を持ち、主体的に練習に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 振り返りシート
	リコーダーの演奏を楽しもう	・いつも何度でも(2重奏) ・ジュピター(3重奏)	a: リコーダーを演奏するための基本的な奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: お互いの音をよく聴きながら、楽曲にふさわしい音色でどのように演奏するか、表現意図をもっている。 c:主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 振り返りシート

二学期	日本歌曲を歌おう	・この道 ・浜辺の歌	a:イメージを持って歌うための歌詞の発音、発声法、読譜などの技能を身に付けている。 b:リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、曲の雰囲気を感じ取りながら、どのように歌うかについての表現意図を持っている。 c:日本の歌に関心を持ち、主体的に歌唱活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 振り返りシート
	バイオリンに挑戦してみよう	・バイオリン基礎練習 ・きらきら星、カノン、喜びの歌など	a: バイオリンを演奏するための基本奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:楽器の特性を理解し、自己のイメージを持ちながら表現を工夫している。 c:バイオリンに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 振り返りシート
	コードでギターを演奏しよう	・夢の中へ ・カントリーロード ・さくら	a: ストロークの基本奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 楽器の特性を理解し、自己のイメージを持ちながら表現を工夫している。 c:ストローク奏法に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 振り返りシート
	交響曲を鑑賞しよう	交響曲第５番、第６番、第７番、第9番(ベートーヴェン)	a: 音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、感受しながら、楽曲のよさや美しさを味わって聴いている c:主体的に鑑賞の学習活動に取組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	観察 振り返りシート

	イタリア歌曲を歌おう	Caro mio ben	a:旋律や強弱、リズムを知覚し、イタリア語の発音や発声法などの技術を身につけている。 b:イタリア歌曲のよさを味わい、雰囲気を感じながら、どのように歌い上げるかの表現意図をもっている。 c:イタリア歌曲に関心をもち、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 振り返りシート
三学期	ドイツ歌曲を歌おう	・野ばら(シューベルト) ・野ばら(ウェルナー)	a:旋律や強弱、リズムを知覚し、ドイツ語の発音や発声法などの技術を身につけている。 b: ドイツ歌曲のよさを味わい、雰囲気を感じながら、どのように歌い上げるかの表現意図をもっている。 c: ドイツ歌曲に関心をもち、主体的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 振り返りシート
	弾き語りに挑戦しよう	翼をください	a:音楽を表現するためのストローク奏法と弾き語りの技術を身につけている。 b:楽曲のよさを味わい、雰囲気を感じながら、どのように演奏するかの表現意図をもっている。 c: 主体的に弾き語りの学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 振り返りシート
	日本の音階で旋律をつくろう	民謡音階・都節音階・沖縄音階・律音階から音階を選択し、旋律を創作する。	a:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など、創作に必要な技術を身につけている。 b:それぞれの音階の特徴を知覚し、雰囲気を感受しながら、どのように音楽をつくるかについての表現意図をもっている。 c:イメージをもって主体的に創作学習に取り組もうとしている。	観察 作品	観察 作品	観察 振り返りシート

	自由曲を発表しよう	自由曲をグループで発表する。	a: 楽曲を表現するための演奏技術や他者との調和を意識して演奏する技能を身につけている。 b:楽曲のイメージに合わせながら楽器を選び、グループで協力しながら、表現を工夫している。 c:主体的・協働的にグループ活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取	観察 演奏の聴取	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度